

# 森を再生する会会報

第5号  
2004.3.24

流域住民で作る水源の森づくり

～人生を夢とロマンに懸ける人々の集まり～

## 総会のお知らせ

特定非営利活動法人森を再生する会総会を4月22日、午後7:00から安城文化センター、会議室で行います。会員以外で入会ご希望の方は、お誘い合わせの上、ご参加ください。

## 日本財団より助成決定

間伐した材を炭に焼き、土壌改良などに再び使えるように、移動式炭焼き窯の購入資金を申請したところ、この度30万円の助成をいただけることになりました。移動式になっていますので、イベントで炭焼きを取り入れたいときに簡単にどこでも炭焼きができます。

**NPO森を再生する会は循環型社会実現のため、具体的に行動します。**

利用希望者は事務局までお申し込みください。

## イオン環境財団助成事業—緑のダムづくり活動報告

1月25日（日）参加者20名

2月22日（日）参加者4名

3月7日（日）参加者13名

イオン環境財団助成を受けて、特定非営利活動法人森を再生する会の森づくりが具体的に始まりました。設楽町段戸山中でふるさと再生の活動をしておられる斎藤和彦さんのご好意で、斎藤さん所有の山林約2ヘクタールのスギの山を広葉樹に林層転換します。沢の流れるすばらしいロケーションです。

しかし、現況は間伐をしていない放置林のため、昼間も暗く、日光が差し込まないため、森は死んでいます。

斎藤さんの自宅から5分ほど歩き、緑のダムづくりのフィールドに着くと、杉・檜が立ち並んでいました。森には、日光が入らず、昼なお暗い感じですが、しかし、伐採を始め、一本一本倒していくうちに少しずつ光が入り始め明るくなっていくのを感じました。

細い木は手ノコギリを使って切り倒します。能率は上がりあせませんが、木の命を感じることのできる作業です。

40年ほど経つ杉の木は、チェーンソーで切りました。数名で協力し声を掛け合い怪我の無いように最大限注意しながらの作業です。少し、手荒ですが、放置林をこのまま待てな

い現状を考えると止むを得ません。鎌で草刈をする人、枯れ枝を焚き火にする人。それぞれが自分のできる作業を無理をせず、自分のペースで行い気持ちの良い汗を流しました。

お昼には各自持参した弁当を冷たいけれど、澄んだ山の空気もご馳走にしながら、美味しく戴きました。食事をしながら、自己紹介し合い、それまでまったく知らなかった人たちとも交流が出来ました。

森を守るため、自分の時間を費やすのは至福の一時です。素晴らしい心の持ち主の集まりに参加できたことにまず感謝したい気持ちです。

清浄な山の空気・清らかな段戸の水・素敵なたちとの集いにみなさんも是非参加してみてください。



## 参加者の声

先日は 初めての参加にて、送迎含めすべてお世話になり大変ありがとうございました。次回も張り切って参加させて頂く予定です。

40年の大木が悲鳴とともに切り倒される光景は、なんと心痛む思いでしたが、それだけにこの活動の意味をシッカリ理解する事が大切とあらためて認識されました。(知立市・深津睦様)

(コメント)

切り倒された 40 年ほど経つスギの木を見ながら、参加者と斎藤さんの会話。「こんなに立派な木をどうするんですか。」「市場に出せば赤字だからこのままです。ほしい人は持って行ってください。」「……………」

みんな複雑な感情がよぎります。

経済的に成り立たないからという理由で、外国から材木を輸入し、日本の山が放置される。外国の森が破壊され、日本の山も荒れる。山にはもっと重要な価値があることに気がついてほしいと実感しました。

25日は有難うございました。子供の世話で皆さんの話、名前等聞きそびれた事が悔やまれましたし又、ご迷惑をかけ申し訳なくおもいます。

今回の活動は私が今まであちこちの団体で間伐をさせて頂いたなかでも良い意味で大胆な方？と言うのも林野庁名古屋分局関連、愛知営林事務所関連や三河市町村主催の間伐作業は、何れも原則的にテノコで、伐倒する木も20年位の細いものばかりでした。多分チルホールも参考程度にしか使用しないでしょう。ですから私もチェーンソーは慣れていても胸高35～40センチの木はあまり何本も伐倒したことがなかったので今回、非常に悔いが残りぜひ次回参加したくおもいます。

余談ですが林道整備や丸太使用のベンチ作りもあると内容が濃くなるのでは、でも計画設定が大変ですね。そして帰りの車の中で考えたのですが、間伐材をチェーンソーアートで例えばリス、クマなどを彫ったものはそのままの形で炭になるのでしょうか？できたら興味が沸きます。

(碧南市・板倉満様)



## ボランティア募集

1月25日から始まった伐採の活動は、会員以外の皆さんの参加で楽しく行われています。土日の余暇を利用する方法としては、最高の過ごし方です。美味しい水、みどりの空気が只で味わえるのは、この世の贅沢です。

これまでの伐採活動で、山に興味を持っている方がたくさんいることが分かりました。そして、集まる人がいい人であることも大きな発見でした。心ある人でこの運動が地割広がる予感がしています。

